

津軽広域連合地球温暖化対策実行計画に基づく令和4年度の点検結果について

令和5年5月31日

津軽広域連合では、温室効果ガスの排出を抑制し地球温暖化の防止を図る目的として、平成30年3月に「津軽広域連合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定しました。また、計画期間の満了に伴い、令和4年8月には同計画の改定を行いました。

当連合では、本計画に基づき温室効果ガス排出抑制目標の実現に向け、地球温暖化対策の推進を図ることとしています。

- 計画期間：令和4年度 から 令和12年度 まで（9年間）
- 基準年度：平成28年度
- 目標年度：令和12年度
- 対象とする温室効果ガス：二酸化炭素
- エネルギー項目：電気、LPガス、灯油、ガソリン
- 資源項目：水道、一般廃棄物、コピー用紙

温室効果ガスの排出削減目標

平成28年度 (基準年度)	令和12年度 (目標年度)	削減目標
220,491 kg-CO ₂	108,041 kg-CO ₂	△51.0%

1 令和4年度の点検結果

		平成28年度	令和4年度		
		(基準年度)	(目標)	(実績)	増減率 (目標比)
温室効果ガス削減率	%		△42.50	△32.74	—
温室効果ガス排出量	kg-CO ₂	220,491	126,674	148,304.9	17.08%
(エネルギー項目内訳)					
電力使用量	kwh	390,008	339,078	347,599.3	2.51%
LPガス使用量	m ³	328	330	283.0	△14.24%
灯油使用量	リットル	1,704	1,524	1,556	2.10%
ガソリン使用量	リットル	744	374	393.1	5.11%
(資源項目)					
水道	m ³	141	157	151.7	△3.38%
一般廃棄物	kg	108,993	68,440	59,314.6	△13.33%
コピー用紙	kg	2,280	1,820	1,815.5	△0.25%

2 令和4年度の点検結果の分析及び今後の取組

令和4年度における温室効果ガス排出量は 148,304.9 kg-CO₂ となり、基準年度である平成28年度と比較して 32.74%減少しましたが、令和4年度の削減目標（△42.50%）を達成することができませんでした。

その要因として、計画改定後の目標値が、温室効果ガス排出量抑制に向けこれまでより低く設定されたこと、それに加え電力・灯油及びガソリン使用量が令和3年度に比べ増加したことが挙げられます。電力使用量は、ヒロロ全体の使用量が増加したことにより事務局の使用量も増加しました。また、使用する電気事業者別排出係数の変更に伴い、温室効果ガス排出量の数値が増加しました。灯油使用量は、津軽広域クリーンセンターの冬季の低温対策のため増加しました。ガソリン使用量は、事務局で使用する公用車のガソリン使用数量の計測方法の変更により、これまでより増加となりました。

一方で、上記以外の項目はすべて目標を達成することができました。

今後も省エネルギー対策を進めるとともに、職員一人一人が事務や事業における温室効果ガス排出の削減行動を推進し、環境負荷の低減に取り組んでいきます。